



ほうすいる なん 放水路って何なの

かわ なが みじか し りゅうすい ちよくせつうみ じんこう すいる
川の長さを短くし、流水を直接海にそそぐようにした人工の水路

かわ はんらん を ふせ ぐ ため に、 かわ とちゆう から うみ に そそぐ よう に した すいる を、「ほうすいる」といいます。川の長さを短くしたり、市街地の改修工事をしたりするのがたいへんなのです。

それをさけるために、川の途中から新しい水路を造り、洪水の一部または全部を、直接、海に流しこむために、人工の水路を造るのです。これは、「分水路」ともいいます。

おおこうづぶんすいる しなのかわ にいがたけん あらかわほうすいる とうきょうと しんきたかみがわ みやぎけん かのがわ
大河津分水路（信濃川、新潟県）、荒川放水路（東京都）、新北上川（宮城県）、狩野川
ほうすいる しずおかけん おおたがわほうすいる ひろしまけん ゆうめい
放水路（静岡県）、太田川放水路（広島県）などが有名です。

また、水力発電所の水車から出た水を、川に放流するための水路も、放水路といえます。

かわ みじか 川を短くする「ショートカット」

かわ が、まるでへびのようにくねくねが曲がって流れるようすを、川の「蛇行」といいます。

へいち とち すく とこ かわ だこう かえ かわ だこう
平地で、土地のかたむきが少ない所では、川が蛇行をくり返します。川が蛇行していると、洪水が起こったとき、水かさが増した川の水は堤防をのりこえ、周辺に流れこみ、大きな被害を引き起こします。そこで、川がくねくねと蛇行している部分を切り取り、流路を短くつなぎ、川の水をまっすぐ流し、洪水の被害を食い止める工事をします。これを、「ショートカット」といいます。

かわ え あぶくまがわ こうじ おこな けっか こうすい ふせ
はんらんをくり返した阿武隈川では、ショートカット工事が行われた結果、洪水を防ぐことができるようになりました。（監修・保岡 孝之）

